



あおぞら

行方市 社協だより

No.75 2024.12.1

一 発行者 一
社会福祉法人
行方市社会福祉協議会

住所 茨城県行方市玉造甲478番地1
☎ 0299(36)2020
FAX 0299(55)4545
URL <http://www.yokattanet.jp>



詳細はp6にて

もくじ

- | | |
|---------------------------|---|
| ○いきいき長寿者紹介…………… | 2 |
| ○第29回県健康福祉祭いばらきねんりんスポーツ大会 | |
| 第63回県老人クラブ大会…………… | 3 |
| ○令和6年度行方市障がい者スポーツ大会 | |
| 令和6年度鹿行地区障がい者スポーツ交流大会… | 4 |
| ○令和6年度行方市ボランティア全体研修会 | |
| 行方市ボランティア連絡協議会チャリティーバザー… | 5 |
| ○麻生小学校と麻生東小学校で福祉体験 | |
| 講座を実施…………… | 6 |
| ○小学校・中学校新入学祝い品の贈呈 | |
| 介護者のつどい／ほほえみカフェ… | 7 |
| ○善意銀行／つぶやき | |
| 災害時緊急助成…………… | 8 |



この広報紙は赤い羽根共同募金の配分金により発行しております。

ひきひき長寿者紹介



溝口 常雄さん
(行方市山田 92歳)

今回ご紹介するのは、日々をお元気にいきいきと過ごしている、92歳の溝口常雄さんです。10月に行われたインタビューで、常雄さんの笑顔と温かい人柄が、取材者をほっこりと和ませてくれました。常雄さんは山田地区で3人兄弟の一人として生まれ、農家の息子として育ちました。幼い頃から米や麦、サツマイモ、そして牛の世話をしながら、家族の一員として農業に励んできました。その生活は、地に足をつけた農業の営みと共にありました。

結婚後、常雄さんには2人の娘さんが生まれ、家族のために力を注ぎつつ、農業以外にも様々な仕事を携わりました。土木や部品製

多様な経験

常雄さんは、元気な食生活を実践しています。これは、常雄さんの元気の秘訣かもしれません。定年退職後も、友人たちと年3回ほど旅行に出かけ、さらには海外旅行にも行つた経験があります。人生を楽しむことに積極的な常雄さんの姿勢が、健康であることの重要さを物語っています。

また、以前は国内のお寺巡りをして写真やジグソーパズルにも取り組んでいました。手先の器用さと創造力が、常雄さんの趣味の幅広さに表れています。現在は、ppバンドを使って籠などを作るという新しい挑戦を続けており、好奇心を失わないその姿勢が、長寿の秘訣と言えるでしょう。

常雄さんの食生活にも注目すべき点があります。嫌いな食べ物はなく、何でも食べることができます。

造など、多岐にわたる職業経験は、常雄さんの勤勉さと適応力の証と言えるでしょう。人生の中で築いてきた多様な経験が、常雄さんを支える大きな柱となっていることが伝わってきます。

地域の信頼される存在



作品：pp バンドの籠など



各地で集めた御朱印



作品：折り紙手芸



作品：水彩画

インタビューの際には、初対面であるにもかかわらず、娘さんと一緒に常雄さんは二コニコと笑顔を絶やさず、取材者に対しても終始親しみやすい態度で接してくれました。その優しさと人柄の良さが周りの人々を惹きつける理由だとよくわかりました。

溝口常雄さんのいきいきとした生活は、多くの人々にとつての楽しみであり、地域社会における大きな模範となっています。これからも、常雄さんが元気で充実した日々を送り続けることを心から願っています。

現在は週に2回、デイサービスに通い、地域の人々との交流を楽しめます。家族とのつながりも強く、3人世帯で暮らす中、近くに住む子どもや孫たちとの交流も盛んです。家庭生活は温かく充実しています。

第29回茨城県健康福祉祭いばらきねんりんスポーツ大会

全国大会に向けて熱戦を繰り広げる !!

令和6年10月29日（火）茨城県立笠松運動公園において、第29回茨城県健康福祉祭いばらきねんりんスポーツ大会が開催されました。スポーツを通じて健康の増進を図るとともに、地域間の交流を深め明るく活力ある長寿社会づくりを目的として毎年開催されています。

この日は、天気にも恵まれ県内各地より大勢の方々が参加され、行方市からは、ペタンク・輪投げ・グラウンドゴルフの各種目に出場し、日ごろの練習の成果を発揮していました。

惜しくも入賞とはなりませんでしたが、はつらつとプレーされていました。選手の皆さんお疲れ様でした。



グラウンドゴルフ



ペタンク



ワナゲ

第63回茨城県老人クラブ大会

～長年の功績をたたえる～

令和6年9月20日（金）ザ・ヒロサワ・シティ会館（茨城県立県民文化センター）において、第63回茨城県老人クラブ大会が開催され、地域の老人クラブ会長等として長期にわたって活動発展に尽力されてきた下記の6名の方（順不同・敬称略）が表彰を受けられました。

■永年地域福祉貢献者（知事感謝状）

白鳥 和代（上山老人クラブ）



白鳥和代

■活性化運動特別賞

三枝 卓爾（緑ヶ丘ひまわり会）

菅谷 三千男（濱寿会）

藤野 ます子（新田わかば会）

関 良子（なかよし）

一条 さつき（松寿会）



菅谷三千男・藤野ます子・関良子・三枝卓爾



一条さつき

令和6年度

行方市障がい者スポーツ大会が開催されました！

11月4日（月・振替休日）に行方市麻生運動場にて、行方市在住の皆様と一緒に、【大会競技】フライングディスク（アキュラシー競技）と【レクリエーション競技】卓球バレーを実施しました。スタッフの行方市スポーツ推進委員会・なめがたふれあいスポーツクラブ・麻生中学校や北浦中学校の生徒さん達に大会運営のご尽力をいただきました。おかげさまで今年度は、約140名の方に参加していただき大会競技では、Aブロックからはフリーピンク、Bブロックからはフリーブルーが優勝しました。来年もスポーツを楽しんでいきましょう。



大会の部：フライングディスク



レクリエーションの部：卓球バレー

令和6年度

鹿行地区障がい者スポーツ交流大会が開催されました！

11月9日（土）にかみす防災アリーナ（神栖市）にて、鹿行地区障がい者スポーツ交流大会が開催されました。大会は80名以上の方が参加しました。ラダーゲッターやフライングディスク、ボッチャ、パン食い競走などが行われ、各市町村同士、刺激をもらいながら楽しく交流することができました。



行方市から参加したみなさん



ラダーゲッター

▶ 行方市ボランティア連絡協議会がボランティア全体研修会を開催! ～認知症サポーター養成講座～

令和6年10月15日（火）、行方市ボランティア連絡協議会がボランティア全体研修会を開催しました。今回の研修内容は「認知症サポーター養成講座」で、行方市認知症介護アドバイザー連絡会と行方市社会福祉協議会と連携し、行方市でボランティア活動をしている方を対象に認知症への理解を深める機会をつくりました。

この講座は、認知症を正しく理解し、認知症の方やその家族に対してどのように接するべきかを学ぶためのもので、当日は74名のボランティアが参加し、地域全体での認知症理解と支援の重要性が再認識されました。参加者の一人は、「認知症に対する理解が深まり、今後の活動に役立てたい」と感想を述べていました。

行方市ボランティア連絡協議会では、今後も地域社会に貢献するためのさまざまな研修や講座を企画し、地域のボランティア活動の充実を図っていく予定です。



みなさまの善意を被災地へ

▶ 行方市ボランティア連絡協議会チャリティーバザー

140,466円を被災地に!!

令和6年11月10日（日）、なめがた秋まつりにおいて、行方市ボランティア連絡協議会チャリティーバザーが開催されました。

皆様のご支援、ご協力により140,466円を売り上げることができました。ご協力いただきありがとうございました。

この売上金は、義援金として「令和6年能登半島地震災害・令和6年7月大雨災害・令和6年能登豪雨災害」で被災された地域へ送らせていただきました。

市民の皆さんには、当バザーの趣旨をご理解いただき、善意による多くの品物を提供していただきました。さらに、当日は多くの方にご来場いただき、大盛況のうちにバザーを終えることができました。

今後も行方市ボランティア連絡協議会にご支援とご協力をお願いします。



行方市ボランティア連絡協議会のみなさん



チャリティーバザーの様子

麻生小学校と麻生東小学校で福祉体験講座を実施

令和6年の6月から10月の間に行方市社会福祉協議会は、麻生小学校と麻生東小学校の4年児童に福祉体験講座を実施しました。この講座は、児童に福祉の重要性を理解してもらうとともに、障がいを持つ方々への理解と共感を深めてもらうことを目的としています。講座では、子どもたちが「インスタントシニア体験」や「白杖（はくじょう）体験」、そして「ボッチャ体験」など、さまざまなプログラムに参加しましたので、その一部を報告します。

インスタントシニア体験

インスタントシニア体験では、児童たちが高齢者の身体的な変化を体感できるよう、重りのついたバンドやサポーターを装着しました。動きが制限されることで、日常生活の中で高齢者が感じる不便さや、助けが必要な状況を実際に体験しました。

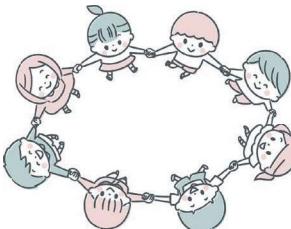
白杖体験

白杖体験では、目隠しをして視覚障がい者の気持ちを体験しました。白杖を使いながら、他者の助けがどれほど必要か、そしてどのようなサポートが視覚障がい者にとって役立つかを考える機会となりました。

ボッチャ体験

ボッチャ体験では、障がいの有無に関わらず楽しめるパラリンピック競技「ボッチャ」を体験しました。

児童たちは、チームで協力してボールを的に近づける競技を通じ、コミュニケーションや協力の大切さを学びました。



X(旧Twitter)で
情報発信中



ボッチャ体験（麻生東小学校）



インスタントシニア体験（麻生小学校）



白杖体験（麻生東小学校）

参加した児童たちは、普段の生活では気づかない障がい者や高齢者の視点を体感し、福祉に対する理解を深めた様子でした。「車いすで段差を越えるのが難しかった」「白杖を使うのが思ったよりも怖かった」など、多くの感想が寄せられ、福祉への関心が高まったことが伺えます。

行方市社会福祉協議会は、今後もこのような体験講座を通じて、地域の子どもたちに福祉への理解を広める活動を続けていく予定です。

小学校・中学校新入学祝い品の贈呈

ひとり親家庭等のお子様に入学祝い品（体操服半袖・半ズボン）をお贈りします。希望される方は、所定の申請書に記入の上、社会福祉協議会までお申し込み下さい。

対象者

行方市に住所を有する令和7年4月に小・中学校入学予定の児童と同居する世帯の養育者で、次の各号のいずれかに該当する世帯とする（申請日現在を基準とする）。

- 1) ひとり親世帯（母子・父子世帯）
- 2) 両親のいない子の世帯

※該当する世帯であっても、次に該当する世帯は対象外とする。
養育者が婚姻関係にあると認められる世帯

申請期間

令和6年12月2日（月）～令和7年2月17日（月）

持参・郵送・インターネット（QRコード）にて受付

※土曜・日曜・祝日は事務所がお休みとなります。（QRコードは受付可能）

申請書は社会福祉協議会事務所（本所・麻生出張所）・行方市役所こども課窓口等に設置しております。



受付QRコード

受取方法

申請後対象と認められた方へ郵送で引換クーポン券をお送りします。

（引換クーポン券取扱店にて体操服を購入時にご利用ください）

市外の小・中学校にご入学予定の方は祝い品をお贈りいたします。

申込先

行方市社会福祉協議会

<介護者のつどい> ~介護の体験などみんなでお話ししませんか?~

ご家庭で介護をされている方や介護の経験がある方が集まり、自由に話していただく語らいの場を開催しています。実際に介護をした体験などをみんなで共有し、情報交換をしませんか。介護に関する相談も受け付けています。

介護経験のある方・これから備えたい方・どなたでも自由参加ですので、ぜひご参加ください！

<参加者の声>

- ・ほかの人と話することで、自分だけじゃないことが分かる。
- ・認知症を理解するためにもほかの人の話を聞くことが大切だと思う。
- ・将来の自分のためにも行くのもいいと思った。

○開催場所：行方市地域包括支援センター

○開催日：令和7年 2月3日（月）、3月3日（月）

○時間：午後1時30分～3時00分

○お申込み・お問い合わせ：地域包括支援センター ☎ 0299-55-0114

<ほほえみカフェ>

ほほえみカフェは、認知症高齢者のご家族が抱える悩みや苦労と同じ立場の方や専門職と一緒にお茶を飲みながら気楽におしゃべりをする場です。

認知症の方は、家に閉じこもりになりがちです。何か楽しみを見つけたい他の家族と情報を交換したい、どんな動機でも構いません。お気軽にご参加ください。

○開催場所：特別養護老人ホーム玉寿荘 交流ホール

○日 時：毎月第3月曜日 午前10時00分～11時30分

○内 容：コーヒータイム、軽い運動、レクリエーション、相談会等

○料 金：無料

○お申込み・お問い合わせ：特別養護老人ホーム玉寿荘 ☎ 0299-55-3636

地域の支え合いを感じる場に

「介護者のつどい」と「ほほえみカフェ」は、地域の中で介護者や認知症の方を支える大切な場となっています。行方市地域包括支援センターは、今後もこうした取り組みを通じて、地域の介護者や認知症の方、家族に寄り添い、安心して過ごせる社会を目指していきます。

行方市善意銀行

令和6年8月1日から令和6年11月7日までに善意をおよせいただいた方々をご紹介いたします。皆様からの善意は行方市のさまざまな福祉活動に使わせていただいております。

皆様からの温かいご寄付に心より感謝申し上げます。

皆様からの寄付金・預託金(順不同・敬称略)

寄付金

| 預託者名 | 金額(円) | 指定先 |
|-------------|--------|-----|
| 千ヶ崎清 | 20,000 | 無指定 |
| 匿名 | 148 | 無指定 |
| 糸結会 代表 鈴木喜昭 | 76,001 | 無指定 |
| 上山老人クラブ | 10,000 | 無指定 |

物品寄付

| 預託者名 | 預託品 | 指定先 |
|-------------------|----------|-------------------|
| 匿名 | タオル 296本 | 無指定 |
| 匿名 | 紙オムツ等 | 無指定 |
| 匿名 | ハンドソープ等 | 無指定 |
| チームエール | 玄米 3俵 | 給食サービス ドリームハウス |
| 茨城県退職公務員連盟行方・潮来支部 | タオル 641本 | 無指定 |
| 匿名 | 菓子・洋服等 | 児童福祉 |
| 匿名 | タオル 98本 | 無指定 |

つぶやき

スポーツの秋！先日、春高バレー・茨城県男女決勝を観戦しました。

男子は、フルセットの激闘、女子も白熱した試合でした。勝敗はついたものの、各校の選手・指導者が同じ目標に向かって戦っている姿は皆輝いていて、試合後は会場全体が感動の大きな拍手で包まれていました。

あらためて、感情を身体全体で表現し一生懸命になる姿はとてもきれいで、私も心が浄化されたような清々しい気持ちになされました。

若者に影響をうけ、スポーツ等夢中になれるものを探そうかなと思った今日この頃です。

金井裕子

広報委員

| | | | |
|------|-------|----|--------|
| 委員長 | 横田 照実 | 委員 | 磯山 正子 |
| 副委員長 | 宮内 和子 | | 加藤 たか子 |
| 委員 | 金井 裕子 | | 松澤 久美子 |
| | 理崎 道子 | | 田野中裕美子 |
| | 大原 孝 | | 阿部 幸一 |



糸結会



茨城県退職公務員連盟 行方・潮来支部

災害時緊急助成

災害が発生し家屋が被災した場合、見舞金の支援をおこなっています。(災害救助法が適用される場合を除きます。)



○対象：家屋の焼失・流失・倒壊等の災害が発生し、罹災証明書が発行された世帯。

| | |
|--------|---------|
| 全焼(全壊) | 30,000円 |
| 半焼(半壊) | 20,000円 |
| 床上浸水等 | 10,000円 |

茨城県共同募金会 行方市共同募金委員会
社会福祉法人行方市社会福祉協議会内
TEL: 0299(36)2020

視覚障害など目の不自由な方へ朗読ボランティアの方が朗読した「社協広報紙 あおぞら」や「市報 行方」をお届けしています。
希望される方は行方市社会福祉協議会へお申込みください。